

大型の駆動補助機付乳母車の道路交通 通法上の取扱いの見直しについて

規制改革推進会議専門チーム会合（第4回）

平成30年3月29日

有限会社ファルコン

取締役 藤島 美和 企画開発 藤島 賢

株式会社チャイルド社

企画推進部部長 青砥 直樹

背景

保育士の負担軽減

- 多人数用の乳母車は質量 80kg 超

保育士と搭乗児童の安全確保

- 上り坂での安定制御と下り坂での制動停止

災害対応への必要

- 緊急時における幼児の避難手段

保育現場の要請

運用

- 児童3人を職員1人で見守る体制
- 6人乗り乳母車を求める声

既存製品

- 搭乗者数が増えるほど重く扱いが難しくなる
- 4人乗り乳母車で折合いをつける場合が多い

地域性

- 坂道の多い長崎県や山間地
- 駆動補助付乳母車の大きな潜在需要

保育士の声

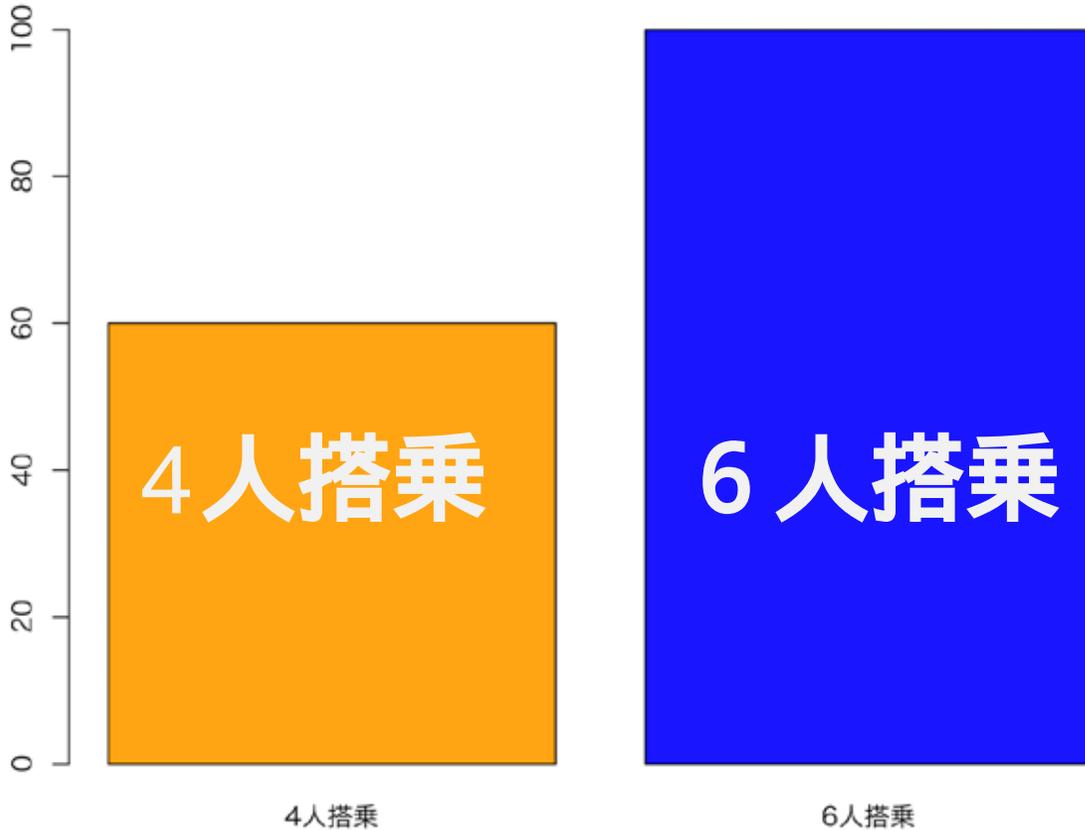
「登り坂だけでなく、**平な場所**での走行や
急な下り坂でのブレーキ、**段差**など**子ども**
を載せると重くなるためアシスト自転車のよう
なわずかな力で動かせるものが欲しい」

保育士（東京都）

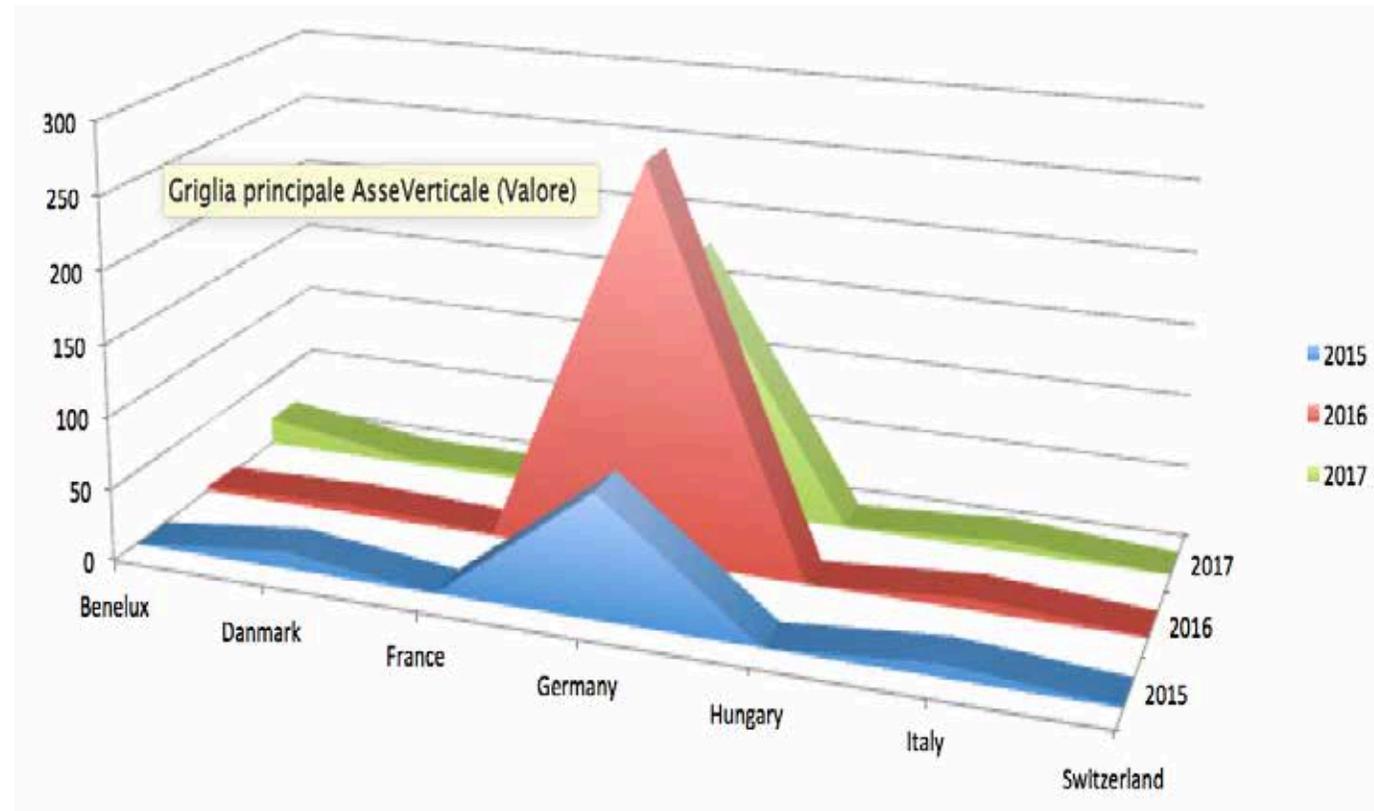
期待される効用

日本に乳母車の販売数

多人数用乳母車 販売台数 (2017年)



駆動補助付乳母車の販売実績



設計上の必要性

搭乗者の安全確保

- 着席しシートベルトを着用

非常時の対応

- 搭乗者が**独力で脱出**できる通路

既存製品との比較

- 6人搭乗モデル（駆動補助なし）と類似の大きさ

既成製品との比較

	搭乗者数	横 (cm)	縦 (cm)	高さ (cm)	質量 (kg)	シート ベルト	駆動補助
国内市販品 A	6	78	106	102	25	-	-
「小児用の車」	-	70	120	109	-	-	-
国内市販品 B	6	84	123	95	28	-	-
国内市販品 C	6	84.5	155	98	35.5	○	-
該当製品	6	75	198	119	120	○	○

既成製品と「小児用の車」

シートベルトなし

多くは「小児用の車」の範囲に収まる

∅ 起立状態で搭乗・安全性に懸念

シートベルトあり

多くは「小児用の車」の大きさを上回る

∅ 大きく重たい・操作性に難あり

乳母車の事件事例

転落・転倒

- シートベルトの緩み
- 保護者が目を離した際に幼児が乗り込み

指をはさむ

その他

- 使用による損耗を原因とした故障など

(独) 製品評価技術基盤機構, 2017, “プレスリリース
- 屋外の製品事故から子どもを守りましょう”

安全対策

転落と指はさみ

- シートベルトと扉のロック機能
- ∅ 車体の大きさが課題に

制動

- 手動ブレーキと自動ブレーキ搭載
- ∅ 手を離したら原動機が停止

転倒防止

- 斜度 5% を超える急坂では停止



他の通行者への配慮

形状

- 鋭利な突起物を無くした樹脂製外装

移動速度

- 最高時速 5km/h

自動制動

- 自動で制動が働き操作性も良い
- 下り坂や段差等において安全性が高まる可能性

